

応募申込書作成要領

◆提出について◆

- ・令和3年8月31日（火）までに「ビジネスプラン応募申込書」等に必要事項を記載のうえ、メールにてご提出ください b-audition@kipc.or.jp
- ・応募後3日（土日祝は除く）過ぎても事務局から受領確認メールが届かない場合、お手数ですがご連絡ください TEL：045-633-5203

【ビジネスプラン応募申込書一式】

- ✓ 1. ビジネスプラン応募申込書（フェイス）
 - ✓ 2. ビジネスプラン（事業計画書）
 - ✓ アンケート
 - ✓ 再応募の方のみ「前回は応募時との比較表」
- ※補足資料等は添付されても審査資料の対象となりませんので、ご了承ください

◆記載上の留意点◆

A4（タテ）・横書きでお願いします

<1. ビジネスプラン応募申込書（フェイス）>

・枠に収まらない場合は、適宜広げてください（2ページになってもかまいません）

ふりがな		所在地（住所） 〒
法人名（商号）		代表Tel： HP URL：
ふりがな		役職：
代表者氏名 (才)		携帯Tel： E-mail：
ふりがな		所属・役職：
担当者氏名 ※連絡がつく方を担当者としてください (才)		携帯Tel： E-mail：

新しい生活様式に対応したビジネスプランの場合は、こちらに記載をお願いします。

設立等要件	概ね6ヶ月以内に法人設立または個人開業を予定している方	★ご提出いただくビジネスプランが新しい生活様式に対応したビジネスプラン（ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けたプランなど）の場合、以下のボックスに○を記載してください。 <input type="checkbox"/> 新しい生活様式に対応したビジネスプラン
	法人設立（個人開業）後、10年以内の中小企業または個人	
	新規事業（新分野進出または事業転換）を開始して5年以内の中小企業または個人	

公的認定、補助金等	
知的財産権	

＜2. ビジネスプラン（事業計画書）＞

- ・文字の大きさ（フォントサイズ）は12ポイント、フォントは、見出しや強調はMSゴシック、文章はMS明朝を標準としてください
- ・3ページ以内にまとめてください（項目ごとの配分は自由です）

2 ビジネスプラン（事業計画書）の記載方法のポイント

（1）ビジネスプラン名（30字程度）

ビジネスプラン名を見れば事業概要がだいたいわかるようにキーワードやコンセプトを盛り込んでください。

（2）ビジネスプランの概要（200字程度）

概要を読んだだけでビジネスプランが理解できるように記載してください。

（3）ビジネスプランのきっかけ（事業開始の動機・目的・背景など）（200字程度）

なぜこの事業を実施しようと考えたのかなどの動機、目的、背景を記載してください。

（4）提供する製品・サービス

製品やサービスの内容をわかりやすく記載してください。顧客ニーズと合致していることがポイントです。

（5）対象となる市場、対象顧客

自社の製品やサービスなどの市場について、数字にて記載してください。

想定する顧客を具体化し、顧客のニーズ、悩みや課題を十分に理解できているかがポイントです。

（6）販売方法

顧客と製品やサービスをどのようにつなぐのかを分かりやすく記載してください。

（7）競合他社（競合との違いや競合優位性）

競合他社、類似製品などを記載し、それらとの差別化ポイントを含めて記載してください。

（8）新規性・優位性、事業の独自性

自社の強み、類似事業との差別化ポイントをあげてビジネスプランの優位性や独自性を説明してください。

（9）実現可能性

経営者のノウハウや協力会社の確保、想定されるリスクに対する対応について記載してください

（10）神奈川県への貢献性や波及効果

神奈川県の施策とビジネスプランとの合致している点や神奈川県で事業を実施することによる効果などを記載してください。

（11）3年間の事業スケジュール

売上計画については概算でよいので、千円単位で記載してください。売上の内訳・根拠は例えば「客単価1000円×1日40人×年間300日＝12,000千円」というように数値の積み上げが説得力ある数値になります。

記載項目	初年度 (令和3年度)	2年度 (令和4年度)	3年度 (令和5年度)
事業スケジュール 年度毎の行動計画を記入			
売上計画 (目標額を数値記入)	2,400千円	〇〇千円	〇〇千円

売上の内訳・根拠	@1000円×10人/日×年間240日	@〇〇円×〇〇人/日×年間〇〇日	@〇〇円×〇〇人/日×年間〇〇日
----------	---------------------	------------------	------------------

(12) 3年間の資金の調達と運用計画

必要資金	金額	調達方法	金額
開発費	〇〇千円	自己資金	〇〇千円
マーケティング費用	〇〇千円	銀行からの借り入れ	〇〇千円
運転資金	〇〇千円		
設備資金	〇〇千円		